



人を想い、
地球を想う

第106期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで



三ツ星ベルト株式会社

証券コード：5192

当初業績予想の達成に向け、着実に前進。 このような経営環境下を好機とし、更なる成長のための体制づくりに注力いたします。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第106期第2四半期連結累計期間の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大幅に減少し、雇用情勢、個人消費、設備投資等の低迷が続くなど経済活動は低下しました。その後、感染拡大防止対策の効果により自粛要請が解除され、経済活動の対策等により徐々に持ち直しが見られたものの、総じて厳しい状況で推移いたしました。世界経済は、中国がいち早く経済活動を再開し大きく回復を見せましたが、他の地域においては同感染症の影響は収束の目途が見られない中、各国の政治情勢や米中の通商問題が不安視されるなど先行きは不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは感染防止対策に注力するとともに、従業員の身の安全と雇用が維持できるよう努める一方、売上高と利益の確保も最大限図れるよう、活動してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高30,459百万円（前年同期比18.1%減）、営業利益1,959百万円（前年同期比55.5%減）、経常利益2,296百万円（前年同期比47.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,600百万円（前年同期比47.8%減）となりました。

中間配当につきましては、1株につき27円、支払開始日を2020年12月3日と決定させていただきました。

今後の企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染拡大規模と経済への影響が、国内・海外を問わず先行きが見通せない状況が続く一方で、各国の政治情勢や通商問題も下振れリスクとして懸念されるなど、世界情勢は依然として厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、三ツ星ベルトグループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、次世代の産業分野のニーズに対応できる「高機能、高精密、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実を図り、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月



代表取締役社長

垣内 一

FOOMA JAPAN 2020(2020国際食品工業展)に出展

当社は、2020年6月23日～8月31日にFOOMA JAPAN 2020公式WEBサイトで開催されたFOOMA JAPAN 2020（2020国際食品工業展）に出展しました。

出展では、「ママライン®」シリーズでお馴染みの「ハイブリッドシリコンベルト」と「低収縮ベルト」を実際の使用感をイメージしやすいように、パン生地や食肉を搬送している画像を用いて紹介しました。

今回は新型コロナウイルス感染症の影響により、各出展社がピックアップした製品を、ニュース形式で紹介するという形で開催されたことで、当社としても製品の見せ方や新たな製品PR方法を検討していく機会になりました。

WEB展示会の出展製品

ハイブリッドシリコンベルト

パン生地や菓子生地などの粘着物がくっつきにくい！



低収縮ベルト

樹脂ベルトの収縮を防ぐ裏面帆布で耐久性をアップ！



連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高30,459百万円(前年同期比18.1%減)、営業利益1,959百万円(前年同期比55.5%減)、経常利益2,296百万円(前年同期比47.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,600百万円(前年同期比47.8%減)となりました。

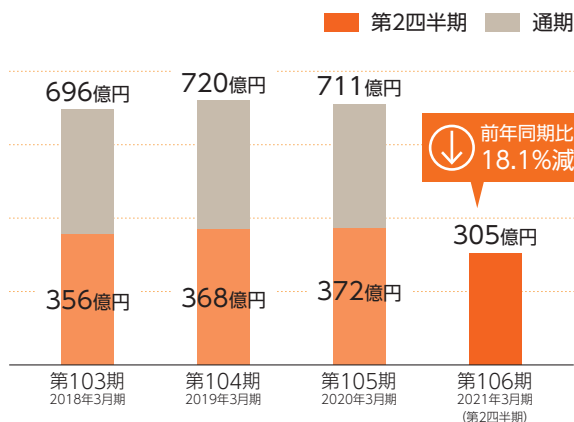
当第2四半期連結会計期間末は、固定資産が456百万

円増加したものの、流動資産が2,153百万円減少したことから、総資産は前連結会計年度末比1,696百万円減少の99,458百万円となりました。

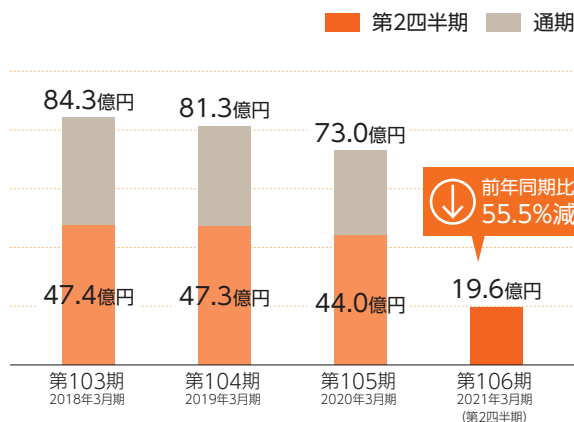
負債は、流動負債が2,853百万円、固定負債が153百万円とそれぞれ減少したことから、前連結会計年度末比3,006百万円減少の26,195百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等に

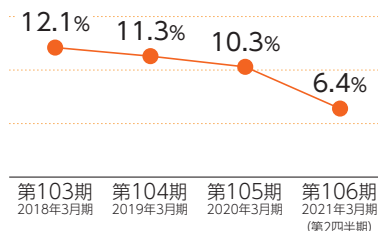
売上高



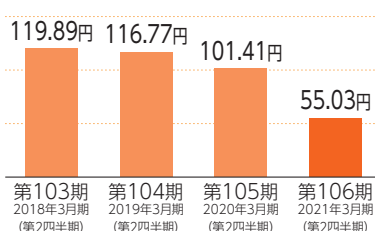
営業利益



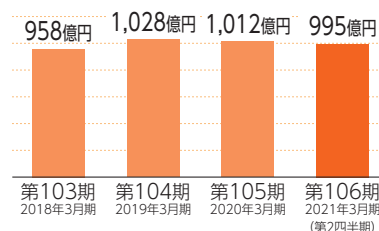
営業利益率



1株当たり四半期純利益



総資産



※当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。第103期の期首に当該株式併合が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

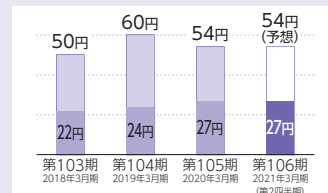
より利益剰余金が815百万円、その他の包括利益累計額が495百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比1,310百万円増加の73,263百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.1%から73.7%に上昇しました。

配当の状況

中間配当金 **27円**

〈 期末配当金 27円(予想)
年間配当金 54円(予想) 〉

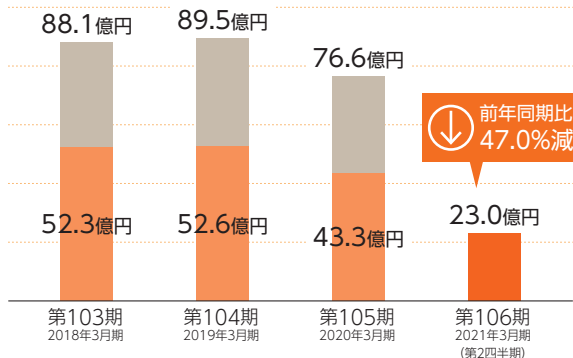


※当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っており、株式併合後の基準で換算した配当金額を記載しております。

※第104期の1株当たり配当金には、創業100周年記念配当10円を含んでおります。

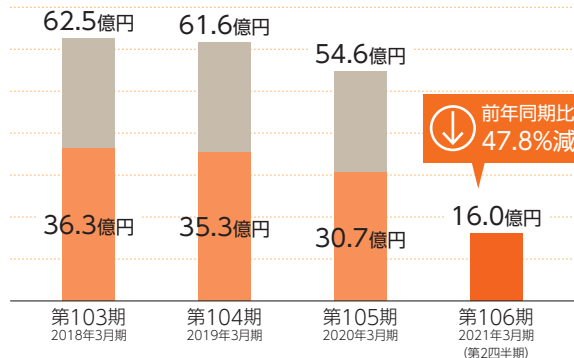
▶ 経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期

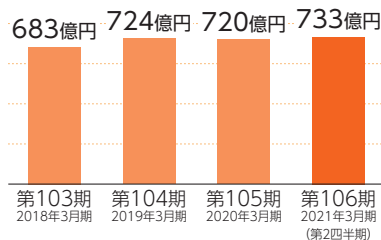


▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

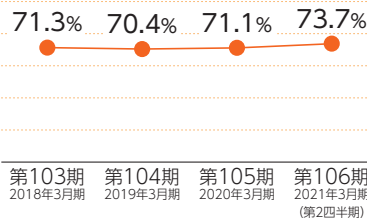
■ 第2四半期 ■ 通期



▶ 純資産



▶ 自己資本比率



2021年3月期連結業績予想

売上高	610億円
営業利益	32億円
経常利益	34億円
親会社株主に帰属する当期純利益	28億円

事業部門別状況

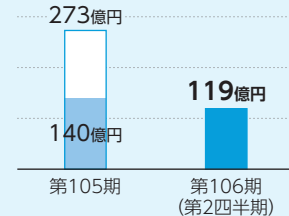
事業区分	売上高構成比	
<p>国内ベルト事業</p> <p>売上高 118億75百万円</p> <p>営業利益 20億37百万円</p>	<p>39.0%</p>	<p>国内ベルト製造の主力工場 綾部事業所・三ツ星ベルト技研</p>
<p>海外ベルト事業</p> <p>売上高 133億88百万円</p> <p>営業利益 11億01百万円</p>	<p>44.0%</p>	<p>海外ベルト製造の中心的な役割を果たすSTARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED(タイ)</p>
<p>建設資材事業</p> <p>売上高 28億32百万円</p> <p>営業利益 1億60百万円</p>	<p>9.3%</p>	<p>建設資材を製造している名古屋工場</p>
<p>その他</p> <p>売上高 23億62百万円</p> <p>営業利益 12百万円</p>	<p>7.7%</p>	<p>研究開発体制を強化・推進させる神戸事業所</p>

概況

自動車用ベルトは、新型コロナウイルス感染症の影響によりユーザーの工場の稼働停止や輸出需要が低迷したことなどから売上高が減少しました。また、一般産業用ベルトや搬送ベルト、合成樹脂素材についても同様に国内企業の生産活動の落ち込みに伴って売上高が減少いたしました。

その結果、当事業の売上高は11,875百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益は2,037百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

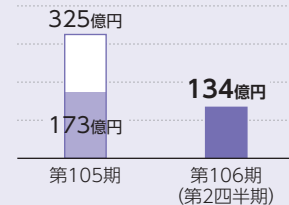
売上高の推移



自動車用ベルトは、自動車メーカーの生産調整によって生産台数が大きく減少したことから、アジア・米国・欧州いずれの地域でも売上高が減少しました。

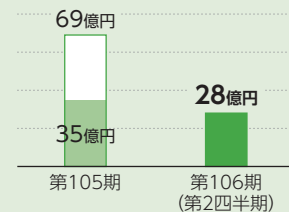
一般産業用ベルトは、中国や東南アジアにおいて農業機械向けの需要が回復傾向にあることなどから前年同期並みとなりました。一方、OA機器用ベルトはアジアでの売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は13,388百万円（前年同期比22.7%減）、営業利益は1,101百万円（前年同期比51.4%減）となりました。



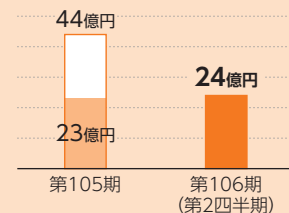
建築部門は公共や民間の工事物件の中止や延期の影響を受けたことに加え、土木部門も大口工事物件が減少したことから売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は2,832百万円（前年同期比19.4%減）、営業利益は160百万円（前年同期比70.0%増）となりました。



その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

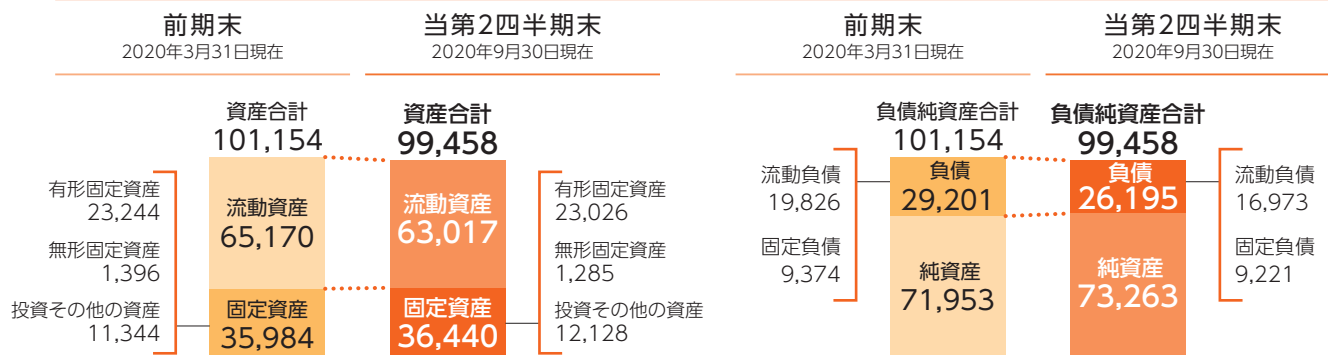
その他の売上高は2,362百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は12百万円（前年同期比10.6%増）となりました。



四半期連結財務諸表

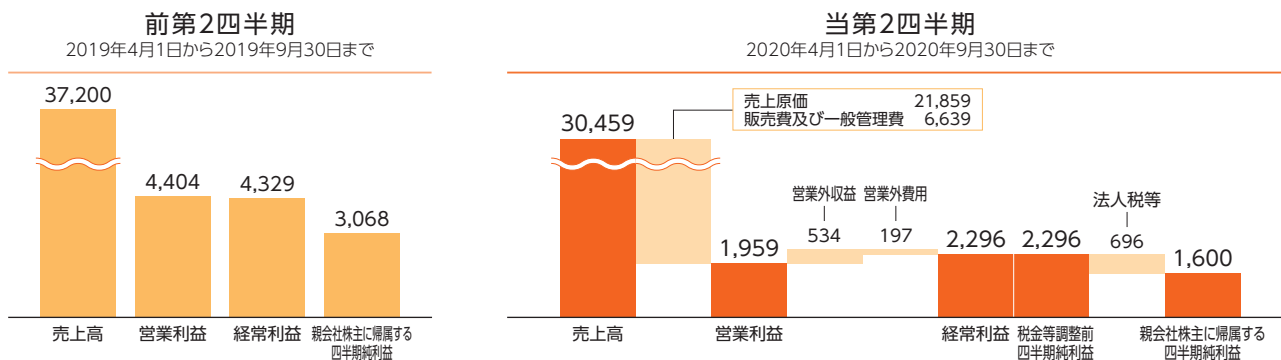
四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



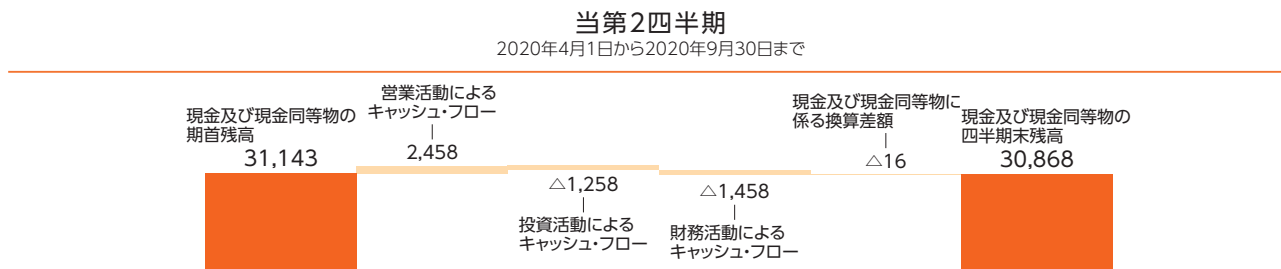
四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前期末 2020年3月31日現在	当第2四半期末 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	65,170	63,017
現金及び預金	31,360	30,897
受取手形及び売掛金	14,687	14,048
その他	19,122	18,071
固定資産	35,984	36,440
有形固定資産	23,244	23,026
無形固定資産	1,396	1,285
投資その他の資産	11,344	12,128
資産合計	101,154	99,458
負債の部		
流動負債	19,826	16,973
固定負債	9,374	9,221
負債合計	29,201	26,195
純資産の部		
株主資本	67,745	68,560
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	63,272	64,087
自己株式	△ 5,788	△ 5,788
その他の包括利益累計額	4,207	4,702
純資産合計	71,953	73,263
負債純資産合計	101,154	99,458

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

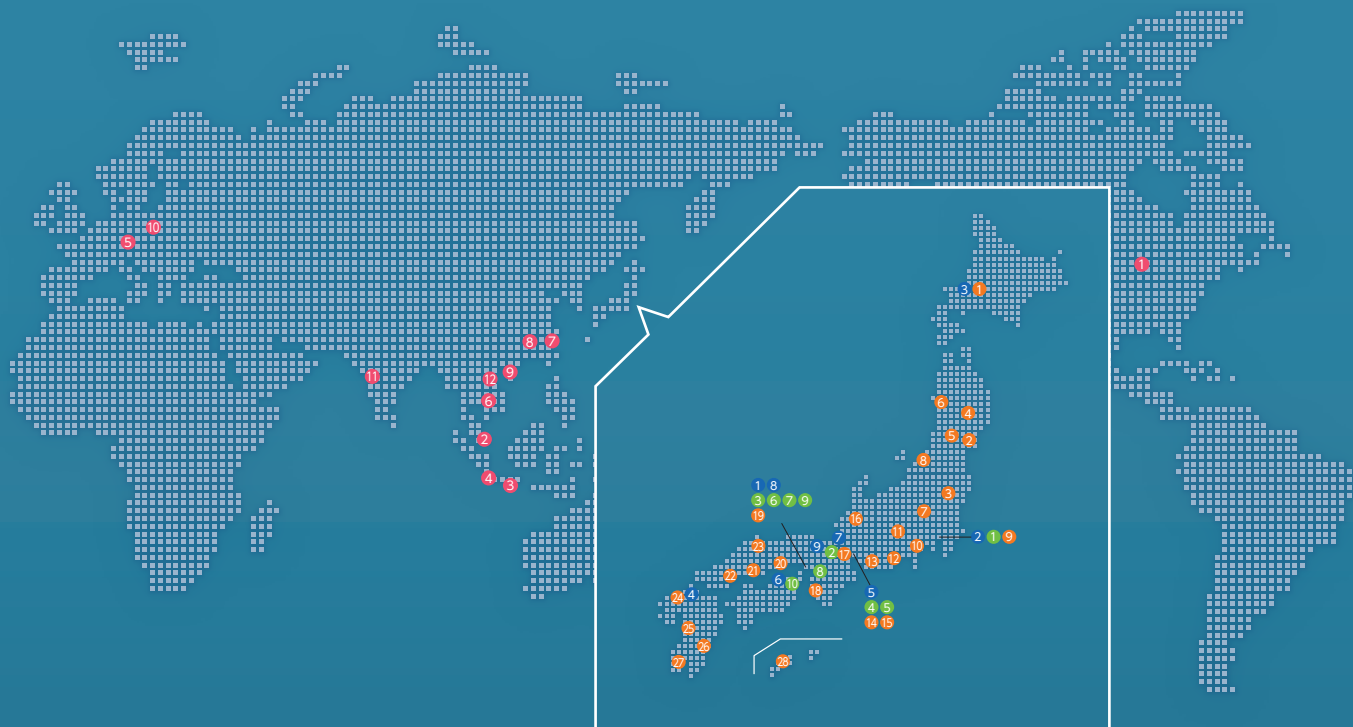
科目	前第2四半期(累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	37,200	30,459
売上原価	25,576	21,859
販売費及び一般管理費	7,220	6,639
営業利益	4,404	1,959
営業外収益	499	534
営業外費用	574	197
経常利益	4,329	2,296
税金等調整前四半期純利益	4,329	2,296
法人税等	1,261	696
四半期純利益	3,068	1,600
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,068	1,600

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,939	2,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	489	△ 1,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,580	△ 1,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 328	△ 16
現金及び現金同等物の増減額	2,520	△ 274
現金及び現金同等物の期首残高	30,650	31,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,171	30,868

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンベヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑨ エムエムコート(株)
- ⑩ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ 郡山営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 秋田営業所
- ⑦ 北関東営業所
- ⑧ 新潟営業所
- ⑨ 東京営業所
- ⑩ 神奈川営業所
- ⑪ 山梨営業所
- ⑫ 静岡営業所
- ⑬ 浜松営業所
- ⑭ 名古屋営業所
- ⑮ 小牧営業所
- ⑯ 金沢営業所
- ⑰ 栗東営業所
- ⑱ 和歌山営業所
- ⑲ 神戸営業所
- ⑳ 岡山営業所
- ㉑ 福山営業所
- ㉒ 広島営業所
- ㉓ 松江営業所
- ㉔ 福岡営業所
- ㉕ 熊本営業所
- ㉖ 宮崎営業所
- ㉗ 鹿児島営業所
- ㉘ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

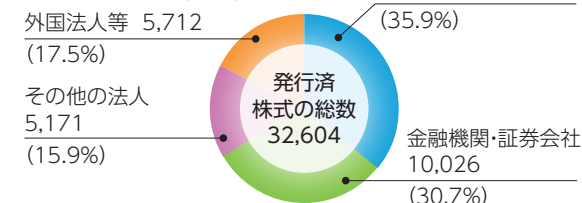
- ① MBL(USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ P.T. Mitsubishi Belting Indonesia
- ⑤ Mitsuboshi Belting Europe GmbH
- ⑥ STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ 瑪歐愛技術有限公司
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ MITSUBOSHI BELTING VIETNAM CO., LTD.

株式の概況 (2020年9月30日現在)

1. 株式

- 発行可能株式総数 130,000,000株
- 発行済株式の総数 32,604,198株
- 株主数 4,512名

所有者別状況(千株)



(注) 個人・その他には自己株式3,527千株が含まれています。

会社の概要 (2020年9月30日現在)

- 商号 ミツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.
- 創業 1919年10月10日
- 設立 1932年10月10日
- 資本金 81億5,025万1,031円
- 従業員数 736名
- 営業品目

- ベルト** 自動車用ベルト、一般産業用ベルト、OA機器用ベルト、搬送ベルト、その他ベルト
- 建設資材** 建築用防水シート、土木用遮水シート及び関連製品
- その他** エンジニアリング ストラクチュラル フォーム、その他

- 事業場 神戸本社 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号
☎(078)671-5071代表
- 東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号
☎(03)5202-2500代表
- 札幌営業所 札幌市豊平区豊平2条3丁目1番17号
☎(011)841-9135代表
- 福岡営業所 福岡市博多区板付1丁目3番1号
☎(092)441-4451代表
- 名古屋工場 愛知県小牧市大字西之島1818番地
☎(0568)72-4121代表
- 四国工場 香川県さぬき市津田町津田2893番地
☎(0879)42-3181代表
- 滋賀工場 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2号
☎(0740)27-0133代表
- 神戸事業所 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号
☎(078)671-5071代表
- 綾部事業所 京都府綾部市城山町7番1
☎(0773)43-3051代表

2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行	3,265	11.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,798	6.18
株式会社三菱UFJ銀行	1,170	4.02
星友持株会	960	3.30
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	800	2.75
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	760	2.62
三井物産株式会社	750	2.58
三菱UFJ信託銀行株式会社	686	2.36
大同生命保険株式会社	677	2.33
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	650	2.24

(注) 1. 当社は自己株式3,527千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長 兼社長執行役員	垣内 一	常務執行役員	羽村 健
取締役兼 専務執行役員	山口 良雄	常務執行役員	佐々木 孝
取締役兼 専務執行役員	中嶋 正仁	常務執行役員	又場 敬司
取締役兼 上席常務執行役員	片山 孝	常務執行役員	倉本 信二
取締役兼 常務執行役員	池田 浩	常務執行役員	下村 徹
取締役	宮尾 龍蔵	常務執行役員	熊崎 敏美
取締役	奥田 真弥	執行役員	石田 和利
監査役 (常勤)	増田 健吉	執行役員	竹田 和浩
監査役	奥島 吉雄	執行役員	高田 俊通
監査役	辻 泰弘	執行役員	森田 直嗣
監査役	田中 純	執行役員	永田 昭裕
		執行役員	西河 伸恭
		執行役員	出口 勲
		執行役員	松井 優

(注) 1. 取締役宮尾龍蔵及び奥田真弥の両氏は、社外取締役です。

2. 監査役辻泰弘及び田中純の両氏は、社外監査役です。

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

株主メモ

- ◇ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◇ 定時株主総会 6月
- ◇ 単元株式数 100株
- ◇ 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- ◇ 上場金融商品取引所 東京証券取引所
- ◇ 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料)0120-094-777
- ◇ 公 告 方 法 電子公告により行います。
公告掲載ホームページは、https://www.mitsuboshi.com/japan/denshi_koukoku/index.htmlに掲載しております。
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

<https://www.mitsuboshi.com/>